

## 監査委員特別セミナー

(4月20日～21日)

4月20日、21日の2日間の日程で、「監査委員特別セミナー」を開催し、全国各地から計108人の監査委員の皆様にご参加いただきました。



三橋 一彦氏

初日は、まず、「監査制度について」と題して、総務省大臣官房審議官（地方行政等担当）の三橋一彦氏から、監査制度の概要、地方自治法の改正や監査基準及び実施要領を踏まえた望ましい監査の在り方や国の最新動向等についてご講演いただきました。参加者からは、「監査制度の概要を知るうえで着目すべき平成21年度の法改正、平成31年度の総務大臣通知を知れて良かった」、「監査基準案の話が参考になった。具体的な資料もあり、大変参考になった」、「監査委員制度の歴史により、監査機構の充実が図られたことを知り良かった」などの感想をいただきました。

続いて、「内部統制に依拠した監査の考え方」と題して、日本大学商学部教授の紺野卓氏から、内部統制評価報告書の審査の在り方、例月出納検査、定期監査等との有機的連携による監査等の効率化等、望ましい今後の監査実務の在り方についてご講演いただきました。参加者からは、「現在地方自治体が抱えている問題を提起いただき、また、裁判実例も公表して下さり、わかりやすく大変勉強になった」、「新しい観点での監査の必要性が理解できた」、「大学教授らしく、わかりやすかった。内容は難しかったが、ポイントを絞った内容だったので勉強になった」などの感想をいただきました。



紺野 卓氏



青山 伸一氏

2日目は、まず、「財政援助団体等の監査と監査制度をとりまく課題」と題して、公認会計士であり、公友監査法人代表者委員の青山伸一氏から、財政援助団体、出資団体及び公の施設の指定管理者に対する監査における実務上の留意点等についてご講演いただきました。参加者からは、「条文を細かく説明いただき、わかりやすかった」、「監査対象団体の範囲としての出資比率の内容が理解できた」、「実際に東京都の包括外部監査を実施している具体例等が興味深かった」などの感想をいただきました。

最後に、「公営企業会計に係る監査」と題して、公認会計士の渡邊浩志氏から、公営企業の概要や最近の動向等を踏まえ、留意すべき公営企業会計の監査のポイントについてご講演いただきました。参加者からは、「民間との決算書の違いがよくわかった」、「一番わからない部分だったので、わかりやすい説明がすごく勉強になった」、「実務に関する部分が多く、わかりやすく参考になった」などの感想をいただきました。



渡邊 浩志氏